

第4回 リレー講座 4.8.6

2022 第4回リレー講座を以下の通り実施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター
准教授 日暮 利明 先生

日程等 8月6日(土)

場所 C105 C106

講義内容 科学的に探求する力を育成する授業づくり(理科の見方・考え方を働かせて)

- ・幼・保-小-中-高-大の接続を意識し、発達段階に応じた指導の充実について(講義)
- ・教師一人一人の創意工夫を生かした探求の過程に沿った授業づくりについて(講義)
- ・理科の授業における指導案上にはあらわれない子供の姿の見取り方について(協議)
- ・理科の授業における指導案上にはあらわれない子供の姿の生かし方について(協議)



参加者の声より一部抜粋

・現場の先生方や指導主事のみなさんから直接お話を聞く機会がないので、とても新鮮でした。現場の先生方は、子供たちの反応を実際にみて、それに応じた指導をされているので、多くのことを学びました。

・現職、学生、指導主事の皆様の様々な視点からの意見を聞き、多くを学びました。2学期に早く実践してみたいと強く感じた

・現職や学生のみなさんの質問に答えることを通して、改めて授業の大切さを考えさせられました。そして、授業づくり楽しさを思い出しました。ありがとうございました。

・様々な立場の方と理科についての話ができ、自分の課題を浮きぼりにしたり、刺激を受けたりすることができました。

・学生の指導観や教材観に触れることができ、教育実習前のよい機会となりました。

・実際に子供を前に授業をしている教師がどのような視点で子供の姿を見取っているのかを学ぶことができました。学び続ける姿勢を大切に教育実習でも頑張りたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。

・現在の自分の研究に対するヒントやアドバイスをいただきました。

・理科の授業における子供の姿は、その都度変化があり、日々面白さを感じています。

主体的な子供の姿があらわれるよう発問を工夫したいと感じました。ありがとうございました。